

ウダヤナ大学への協定留学 月例報告書 (2022年9月分)

留学先大学：ウダヤナ大学人文学部日本文学学科

氏名：森下千裕

大学での活動

9月の第2週より授業が始まりました。私は選択したのは、バリ島民の多くが信仰するバリ・ヒンドゥー教の授業とインドネシア国是であるパンチャシラの授業、そして哲学の基礎という3つの一般教養の科目と、日本文学学科の科目である日本事情という授業の計4つです。いずれも現地の学生と同じクラスに混ざり、完全にインドネシア語で授業が行われるため、聞き逃さないように普段以上に集中する必要があります。特に宗教の授業とパンチャシラの授業は、インドネシア国民にとっては幼いころから義務教育として勉強している科目であり、外国人である私が同レベルでついていくことはむずかしいです。よく復習することで、次回の内容を少しでも理解できるようにしています。

また履修の形態として日本の大学(SUAC)と最も異なる点は、学科の中で既にクラス分けがされており、履修する授業やスケジュールがそのクラス単位で常に同じという点です。クラス代表などの役職もあり、代表が各科目の先生と連絡を取りながら授業スケジュールが決まります。このような連絡は大学から公式に届くのではなく、学生同士のチャットのやり取りを通じて情報を得ます。常に同じクラスで行動していることもあり、わからないことは助け合ったり質問し合ったりと、日本と比べて学生同士の結びつきがよいと感じています。私もたくさん助けてもらいながら少しずつ大学生活に慣れてきました。

課外活動

大学の授業のスケジュールが少しずつ定まってきたため、合間を縫って舞踊のお稽古を定期的に受けています。今は、一度習ったことのある演目を再び習うことで、動きや感覚をより身体に定着させることができるように練習しています。また以前習った時とは、自身の舞踊の基礎のレベルも言葉のレベルも変わっているため、毎回新たな発見があることを嬉しく思います。

また今月は単に自分が舞踊を習うだけでなく、人に教える練習や、本番用の衣装の着付けや化粧も学ぶ機会がありました。華やかなバリ舞踊の衣装は、その装飾品の複雑さから着崩れが起きてしまうことが多々あります。衣装と化粧を美しく身につけて踊るために、踊り手としても活躍されている化粧師の友人から、着付けと化粧のポイントを習いました。



↑ 授業はグループワークが多く、授業時間外にカフェに集まり課題を進めることもあります。



←子どもたちに踊りを教える練習をしました。



←バリ舞踊の基本的な衣装と化粧です。素早くきれいに着付けるポイントを学びました。